

事務事業名 児童福祉施設整備事業		所属部 子ども政策局	所属課 子ども政策課	
総合計画体系	政策名 (Ⅲ) 支えあい健やかに暮らせるまち《保健・医療・福祉》	所属G 総務政策グループ	課長名 狩野明芳	
	施策名 (26) 子育て支援の充実	担当者名 南波真二	電話番号 0854-40-1044 (内線) 2252	
	目的 対 子どもの保護者と産み育てたい 意図 安心して子育てができる。	予算科目 会計 款 大事業 大事業名 0 1 1 5 1 1 1 項 目 中事業 中事業名 1 0 0 5 0 1	児童福祉施設整備事業	
	基本事業名 (076) 地域における子育て支援の充実		児童福祉施設整備事業	
目的 対 保護者・地域 意図 地域で子育てを支える環境がある。				

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (28年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
・斐伊児童クラブ新築移転
・大東病児病後児保育施設開設

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	29年度実績(29年度に行った主な活動)	30年度計画(30年度に計画する主な活動)				
	・斐伊児童クラブ新築移転 必要備品等調達 ・大東病児病後児保育施設整備 必要備品等調達	・西小児童クラブ新築開設 必要備品等調達				
	【財源】 ・子ども・子育て支援整備交付金 ・子ども・子育て支援交付金 ・合併特例債	【財源】 同左				
	② 活動指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
ア	市内児童クラブ施設数	施設	9	10	10	11
イ	市内病児保育施設数	施設				1
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
	各児童福祉施設及びその利用者	ア	18歳までの子どもを持つ世帯数	世帯	3,258	3,180	3,094	2,918
		イ	市内児童クラブ施設数	施設	9	10	10	11
		ウ	市内病児保育施設数	施設				1
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
	子育てしやすい環境を整える	ア	子育てしやすい環境だと感じる保護者の割合(行政サービスの)	%	65.9	71.2	79.2	67.0
イ								
ウ								

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (29年度決算)	② コストの推移	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(計画)
・斐伊児童クラブ 委託料 1,214千円 工事請負費 31,253千円 備品費 516千円 その他 306千円 計 33,289千円 ・大東病児・病後児保育施設 委託料 1,094千円 工事請負費 15,060千円 備品費 603千円 その他 22千円 計 16,779千円	財源内訳	国庫支出金	千円	15,136	23,855	19,189
		県支出金	千円	3,446	9,713	5,047
	地方債	千円	3,500	15,300	33,800	
	その他	千円	0	0	4,000	
	一般財源	千円	5,853	1,200	416	
	事業費計(A)	千円	27,935	50,068	62,452	
人件費	正規職員従事人数	人	2	2		
	延べ業務時間	時間	150	747		
	人件費計(B)	千円	595	3,046		
トータルコスト(A)+(B)	千円		28,530	53,114		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
・児童クラブ利用希望者は増加傾向にあり、定員超過のため入居できない場合もある。 ・病後児保育利用者も増加の一途を辿っている。	・子ども・子育て支援整備交付金(放課後児童クラブ)は、H31年度まで、国・県交付金の基準額及び補助率のかさ上げを受ける。 ・これ以外の各施設整備には特に特記事項なし。	・児童クラブ未整備の校区や定員超過のため入所に制限のかかっている地域においては施設拡充の要望がある。 ・病児保育の事業開始が求められていた。 ・このほか、子育て支援に係るニーズは多様化、増加傾向にある。

事務事業名	児童福祉施設整備事業	所属部	子ども政策局	所属課	子ども政策課
-------	------------	-----	--------	-----	--------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合⇒	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
B 有効性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	施設整備等を行う場合、場所・規模・条件等は、都度関係者協議により、その条件下においての最良を選択し行ってる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない		
⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？			
	<input type="checkbox"/> 影響無	理由	高まり続けるニーズに対応できない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)	本事業の整備対象となる児童福祉施設は社会福祉法人等による施設整備及び運営も可能である。よって、その法人に対し補助を行うことで事業を実施することも可能である。しかしながら現時点では、事業実施に対し意欲のある法人はない。
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる		
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	理由	
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	工事発注、備品購入は市規則通り競争入札により実施しており入札減以外の削減は見込めない。
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	施設整備は、高度な建築知識を必要とする分野であり、建設部等の専門家に作業等を依頼すれば、削減の余地はある。
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない		
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由	整備施設は、各条件により優先順位を定め行っているため公平・公正である。
<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	子育て支援に係るニーズは多様化、増加傾向であり、それに対応するためには、継続的かつ計画的な施設整備が必要である。事業の実施にあたっては、必要に応じ、可能な範囲で建設部の協力を得て、事務事業効率の向上を図る。
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持	●	×																		
	低下	×	×																		
必要に応じ、可能な範囲で建設部の協力を得て、事務事業効率の向上を図る。		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																			